

地域型復興住宅推進協議会の取り組みについて

川上の原木・木材加工事業者から川下の建築設計及び工務店等の住宅生産者が、気候・風土・文化に適合した良質で廉価な住宅の提供を目的に、地域ごとのグループを構成して、将来にわたって住まい手とともに、住まいを育んで行く目的で、震災直後に岩手・宮城・福島(3県で309グループ)で協議会を設立し、3県の協議会が連携を図りながら推進している。

◎ これまで・・・木造災害公営住宅と自立再建者住宅の建設に貢献している。

◎ 防災集団移転等の再建者住宅について・・・①良質②廉価③数に対応する検討

数と廉価の取り組みを工期の短縮化で実現を図るとして「工法の検討」を行ってきた。

木造軸組み ①葺工法 ②パネル工法 ③まかべ工法 ④ロケット工法等がグループから提案された。

★葺工法の家が注目＝工期短縮・廉価・良質・長期利用の維持管理・木材多用による林業活性に貢献。

良質な性能・・・耐震力が通常の1.5倍を確保及び省エネ基準(断熱性能)適合、さらに木材多用による住まい手の健康長寿に貢献する住宅として注目されている。

◎ 工務店紹介・職人融通支援・資材確保支援の3つのマッチングサポートを開始

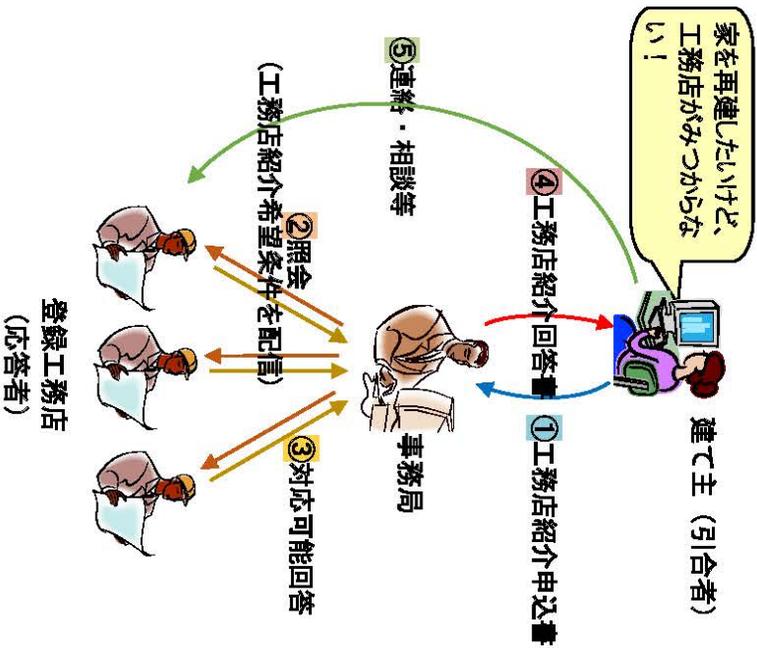
被災者の家を建てたい気持ちに沿って、一刻も早い住宅再建でこたえるために、地域住宅生産者グループが一丸となって取り組む「被災者支援」の制度である。

この仕組みは、再建者支援の工務店探し、工務店のための職人融通・資材確保を支援する制度で、岩手・宮城・福島の3県の協議会が取り組み、被災者の住宅再建が速やかに促進されることを目的としている。

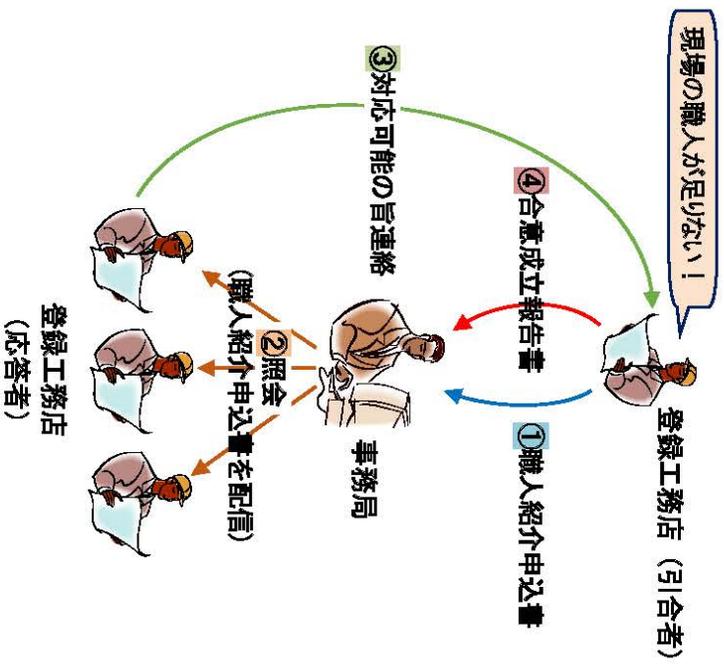
● ①工務店紹介支援・②職人融通支援・③資材確保支援のマッチングサポートを岩手県協議会がすでに開始して、続いて宮城・福島の協議会がスタートする。

マッチングサポート制度 3つのサポート

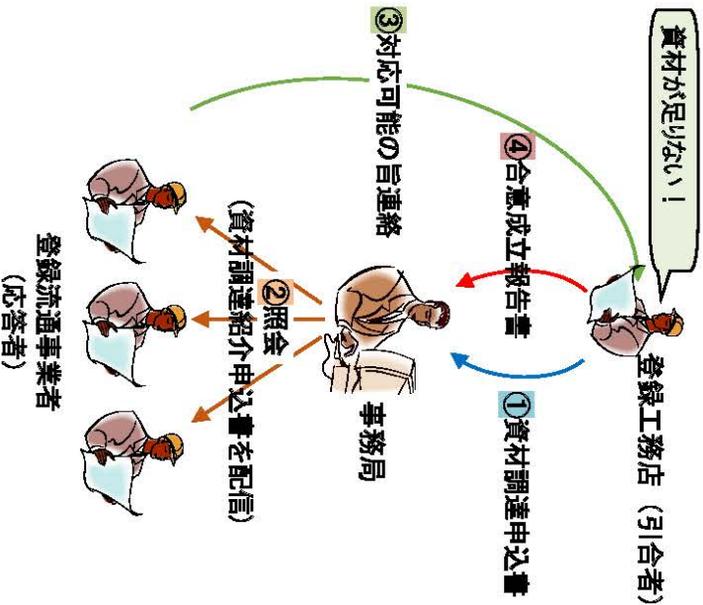
(1) 工務店紹介支援



(2) 職人融通支援



(3) 資材確保支援



サポートの紹介申込から合意までの手順

